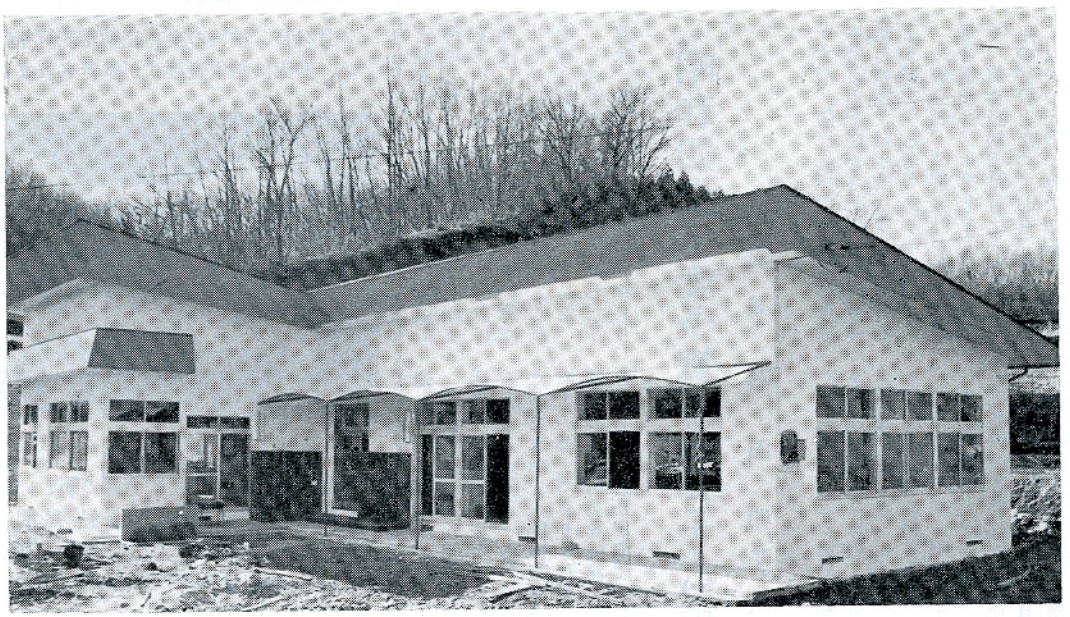
広報
さめがわ

昭和49年
3月号
No.244
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



西山児童館立派に完成

鮫川村は、住民福祉の向上を重点中の重点施策として進めていますが、先には母子福祉のための母子健康センター、老人福祉のための保養センター、さぎり荘の開設があり、今年度は児童福祉のための児童館建設事業がこの程完成しました。

西山字水口地内に明るい近代的な構造で、194.4㎡（約59坪） 総事業費12,857千余円を費して竣工し、鮫川村保育所とならんで、地域児童の健全育成を図る機関として、また地域住民の集会等の場としても有効に活用されることになりました。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 4月4日～4月15日 春の全国交通安全運動
- ⊙ 毎月5日　交通事故相談日（白河地方行政連絡室）TEL 白河 (2)1550
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（3月1日 現在）

人口	6,235	（－5）
男	3,124	（0）
女	3,111	（－5）
世帯	1,196	（0）

村政の歩み（35）

昭和四九年度予算の目ざすもの

村長　石田卯子八

今年の三月定例村議会は、例年より早く三月六日に招集され、七日間の会期で慎重な審議が続けられた結果、三月十二日全議案を議了して閉会されました。

三月定例会の中心議題である昭和四九年度予算については、経済危機突破のため、総需要の抑制公共事業圧縮などの方針を国がうち出しており、補助事業の配分枠や、財源としての地方交付税の伸びなど、肝腎なところがはつきりしない見透しの下で編成しなければならず、一方地方公共団体としては、このような年にこそ実施しなければならない多くの行政需要を抱いておりこのことが大きな悩みでありました。

わが村としては、物価の狂騰と経済の混乱を押える国の施策に即応しつつ、村固有の実情を踏まえて、抑制の中にも伸ばすべきは伸ばし、圧縮節約の中にも緊急にして効率高い施策は、あえてこれを採りあげる方針をとりました。

そのため、このたび成立した予算は、実績に基く抑制型ではありますが、住民皆様の年来のご要望に応える配慮がされており、今後執行の面で効率的な成果をあげるよう努力する考であります。

一般会計、特別会計を合せた予算の総額は、六億七二五〇万円余で、前年当初予算対比一五・八三%の伸びとなつており、村初まつて以来の大型予算であることには変りがありません。

この年度も、人間尊重、住民生活優先の行政を基本理念として、みどりと太陽と、さわやかな大気に包まれた、人間性豊かなより住みよい郷土づくりを目ざして、施策の展開と努力を傾注していくことは勿論であります。その中で特に住民福祉向上のため、新に採りあげた施策には次のようなものがあります。

・敬老年金の支給年令八五歳を八〇歳に引下げ、額を三千円から四千円に引上げる。

・高額医療費支給制度を創設し、国の施策に先がけて七月から実施する。即ち一ヶ月の医療費自己負担額三万円を超過する額は村が負担することになる。

・重度心身障害者の医療費は、一～二級該当者について県に先がけて四月から無料化する

・ねたきり老人の医療費無料化を六〇歳まで年令を引下げる

・児童館を小型保育所として運営する。

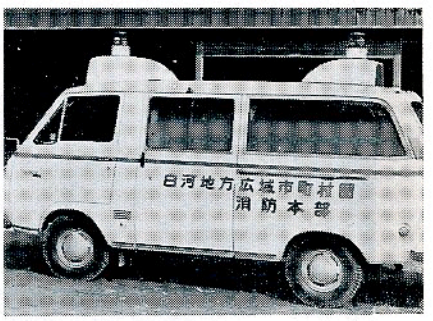
・助産費一万円を二万円に引上げ、葬祭費四千円を五千円に引上げる。

その他既設の母子健康センターや保育所については、施設の充実改善を行うことにし、他の施策とあわせて、住民福祉を一層高めることをねらいとしております。

この年度もまた村政の飛躍して前進する年とするため、格別のご協力をおねがいして止みません。

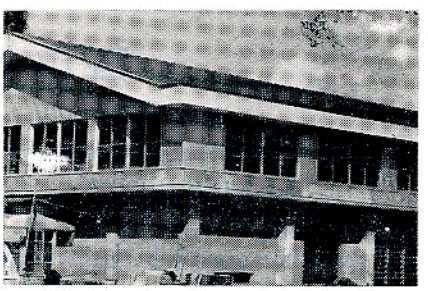


2月21日、納税の全村完納継続17年を祝い、盛大に納税表彰式が挙行されました



救急車配備!!

常備消防鮫川出張所に装備の新しい救急自動車が配備されました。昼夜を問わず重い急病人やケガ人が出た場合ご利用下さい。火事と救急車の連絡は「119番」へ



西山小屋内運動場新装成りて竣工。事業費　19,473千円　総面積390㎡

おめでた

二月

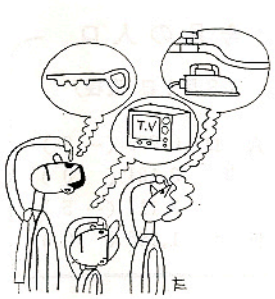
塩倉　矢吹伸一父　矢吹　栄蔵
前田　金沢浩之〃　金沢　吉衛
新宿　斉須　順〃　斉須　寛一
大根屋敷　佐久間恵子〃　佐久間栄一
草牛　斉藤博文〃　斉藤　義雄
蕨平　藤元健史〃　藤元健次郎
中野町　山形淳一〃　山形　一雄
火打石　佐藤勝徳〃　佐藤　恵一
青生野　岡部晴美〃　岡部　照美
二反田　松本尚子〃　松本　哲明

おくやみ

二月　世帯主

青生野　金沢年明67才　金沢助右門
上　高坂スミ76才　高坂　武
大沢　関根トメ78才　関根正勝
越虫　藤田幸男16才　藤田義雄
道少田　降矢フミ76才　降矢桝男

◇　◇　◇



お出かけには
ガス、でんき、テレビ、戸じまり
みんなでもう一度たしかめて

＝昭和四十九年度一般会計予算＝
五億五千二百三十万円（前年対15％増）

三月定例村議会は三月六日に招集され、七日間の日程で、昭和四九年度予算案及び敬老年金支給条例の一部改正案等二一議案が審議され、何れも原案どおり可決されました。

インフレにゆれ動く経済状勢の中で、総需要抑制の国の方針に従いながらも、村の新年度予算は、住民福祉と農林業振興を最重点に編成され、「明るく、豊かで、より住みよい村づくり」をモットーに数々の新しい施策が盛り込まれています。



定例議会で新年度予算案を説明する石田村長。

助産費二万円・外国人にも国保適用

四月一日から助産費が一万円から二万円に、葬祭費が四千円から五千円に増額して支給されます。

また難病や高度治療を要する病気のため一か月の自己負担が三万円を超えるときは、その超えた額を七月一日以降村から給付することになりました。

国内永住権をもつ外国人（朝鮮）も四月一日から国民健康保険の被保険者となることができることになりました。

敬老年金支給の支給対象年令引き下げ

今年から支給対象年令を八五才から八〇才に引き下げ、支給額は三千円から四千円に増額されます。

ねたきり老人医療費も年令六五才から六〇才に引き下げ医療費は全額支給されます。

鈴木春栄画伯奨学基金貸付額改正

高校及び高専月額三千円以内を四千円以内に、高専四年以上及び大学在学者に六千以内を八千円以内に増額改訂されました。

重度心身障害者に朗報

施設に収容されている心身障害者は公費負担とされていますが、在宅障害者は除外されていました四月一日から村単独事業で、在宅心身障害者（一～二級程度）の医療費の一部負担額を村が負担します。

四九年度特別会計予算

- 事業勘定（国民健康保険）
  九千四百三五万八千円
- 直営診療施設勘定
  二千百七八万九千円
- 簡易水道特別会計
  百五四万四千円

◇　◇　◇

常備消防出張所に救急車が配置

村の消防署に、みなさん待望の救急車が、配置されました。

"みんなの救急車"であるということを考えて、正しく利用して下さるようお願いします。

一、急病又はケガの症状ははっきりいって下さい。

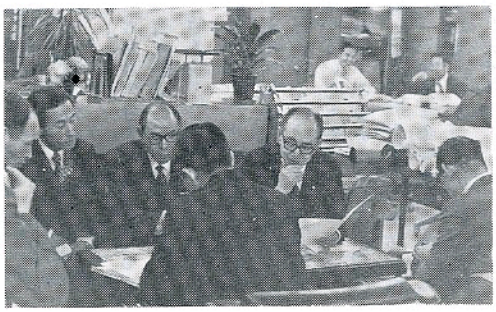
二、事故なら現場、急病ならその住所を、はっきり通報して下さい。

急病人や普通のケガ人の場合は、大体それで出動対象か、どうかを判断します。

救急車をタクシー代りに利用することはできません。

救急車は、事故のケガ人と、重篤な急病人だけが利用できるものですからご理解のうえご協力をお願いします。

（白河消防署鮫川出張所）



49年度主要事業の採択陳情

村と議会では、2月23日と3月1日に2班に分れ、県教育長や関係部課長に対し、屋体、プール、村道、農道、林道など新年度に予定する事業の補助枠を獲得するため、熱心な陳情を行いました。

また併せて、県道の改良ほ装事業を大巾に施行するよう要望しました。

陳情の内容

◎県単林道開設
　①前沼線（継）　②岩の草・水口線（継）
◎公共林道開設事業
　①官代・檜久保線（新）②殿山線（新）
◎峰越連絡林道開設事業　①石井草大作線（新）
◎森林資源開発事業　①高岩線（継）　②江竜田線（継）　③荻の沢線（新）
◎団体営ほ場整備事業
　①大久保地区　②沼ノ沢地区
◎県単農道整備事業　①館山地区（新）②塩倉地区（新）③仁田地区（新）④余所内地区（新）
◎団体営農道整備事業　①葉貫地区（新）
◎県営農道補修事業　①葉貫地区（継）
◎砂防ダム建設事業　①渡瀬川（江竜田地内）（新）
◎村道改良事業　①赤坂石川線②石井草青生野線
◎県道改良事業　①棚倉鎌田上三坂線②黒田浅川線③赤坂東野塙線④赤坂西野石川線
◎水泳プール建設事業
　①西野小学校水泳プール
　②西山小学校水泳プール
◎屋内運動場建設事業
　①鮫川小学校屋内運動場

（写真は道路改良事業を要望する陳情団）

あなたの善意を 奉仕銀行へ



どんなささやかな善意でもそれを待っている人がたくさんおります!!

だれでも心の片すみに「なにか人のため、世のために役立つことがしたい」……そんな温かい心を持っているものです。

しかし、このような善意が適当な使い途や、利用の機会がないために、そのまま心の片すみに埋もれてしまうことが、多いのではないでしょうか。

あなたの尊い善意を預託していただき、もっとも効果的に役立てる（払い出し）……いわば善意のとりつぎをするところが奉仕銀行です。

奉仕銀行では、左記のような口座を設け、あなたの善意、能力の預託をお待ちしております。

◇ 技能預託口座・理容・手語通訳等
◇ 労力預託口座・洗たく・清掃育児等
◇ 金品預託口座・図書・種苗・金銭等
◇ 特別預託口座・血液・角膜・集会所の提供等

なお詳しいお問い合せは、村社会福祉協議会（役場内）・または福島県社会福祉協議会（福島市上浜町一一番三五号電（〇二四五）二三―一二五一、宛にお願いします。

青年会館再建のご協力に感謝

火災で失った福島県青年会館の再建資金募金運動について、村民の皆様から暖かいご協力をいただき、約八〇万円の募金、融資金が集まり（別表のとおり）全額、福島県青年会館建設委員会に納めました。

青年会館は昨年末無事完成し、一月一九日落成式を行ないました。この募金活動などがきっかけとなり、昭和四五年六月以降活動を停止していた鮫川村青年会も昨年一二月二三日、佐藤恵一（西野）を会長に選んで再出発しました。

皆様のご協力に感謝し、今後も変らぬご指導ご支援をお願いします。

鮫川村青年団体連絡協議会長　堀川信四郎
鮫川村青年会OB会長　鈴木　孝雄

青年会館建設資金収集結果（単位 円）

区分		会員拠出金	一般家庭募金	融資（会員家庭）	計
青年会	西野分会	16,500			16,500
	西山分会	11,000			11,000
	中野分会	11,500	101,600	100,000 100,000	313,100
	東石分会	8,500			8,500
	富田分会	5,000			5,000
	渡瀬分会	4,500	128,500		133,000
	青生野〃	12,000			12,000
	募金箱	3,264			3,264
	計	30,364		100,000 100,000	502,364
青年会OB会	西野	37,000			37,000
	西山	56,000		50,000	106,000
	東石	25,000			25,000
	富田	22,000		50,000	72,000
	渡瀬			50,000	50,000
	計	140,000		150,000	290,000
青年学級		3,000			3,000
合計		445,364		350,000	795,364

畜産状報 2月市場子牛取引価格（2月20日）

項目		市場総数	鮫川村	本人取
出場頭数	雌	60頭	18頭	
	雄	51頭	11頭	
	計	111頭	29頭	
平均価格	雌	286,596円	334,833円	
	雄	219,236円	233,900円	
	計	254,787円	296,551円	
最高価格	雌	607,000円	607,000円	
	雄	288,000円	288,000円	
最低価格	雌	180,000円	240,000円	
	雄	131,000円	207,000円	
最高価格牛出品者	雌	坂本　亀寿	坂本　亀寿	
	雄	鈴木　長一	鈴木　長一	

山火事に注意しましょう

△△△△△△△△△△△△△△△△△

これから春先にかけては山火事の多発する時期です。

恐ろしい山火事から貴重な「森林資源」と「緑の自然」を守るため次のことを励行しましょう。

● 野外でのたき火はできるだけ止めましょう
やむを得ずたき火をしたときは、跡始末を完全にしましょう。

● 歩きながらのたばこ、仕事中のくわえたばこはやめましょう
マッチの燃え残りや、たばこの吸殻は必ず消しましょう。

● 炭がまから火が飛ばないよう注意するとともに、煙突附近の枯れ草、小柴などを取り除きましょう。

● 万一山火事が発生した場合、又は発見した場合は、常備消防署（電一一九番）、国有林又は国有林の近くの場合は、営林署担当区事務所にも通報して下さい。

春の全国交通安全運動!!
―絶対守ろう交通ルール―

この運動は、陸上交通に関係あるすべての者に、交通安全思想の周知徹底を図り、交通事故の防止を徹底化するため実施されるものです。

・実施期間＝四月四日～四月一五日
・スローガン

こどもを交通事故から守ろう

四月四日から新入学児童が登校しますので、くれぐれも事故防止に留意して下さい。

飲酒運転・スピード違反・無免許運転は必ずやめて下さい。

